

平成 29 年 11 月 1 日

荒井 聡 農学系教育研究組織設置準備室教授が 食農資源経済学会学術賞を受賞

農学系教育研究組織設置準備室の荒井 聡教授（農学系教育研究組織設置準備室副室長）の著書『米政策改革による水田農業の変貌と集落営農 兼業農業地帯・岐阜からのアプローチ』が食農資源経済学会の発展に寄与するとして食農資源経済学会学術賞を受賞しましたので、ご報告いたします。

【受賞対象業績】

『米政策改革による水田農業の変貌と集落営農 - 兼業農業地帯・岐阜からのアプローチ』（筑波書房，2017年3月刊行，ISBN：978-4-8119-0507-5）

【内容情報】

米政策改革大綱(2002)の提起を受け、担い手の明確化がどのように進められたかを、主として岐阜県の水田農業を対象として明らかにしています。中間管理作業も含めて個人が組織を支え、コミュニティーの再生と連動して、新たな集落営農の組織化が進み、水田農業の重要な担い手として成長してきています。原発被災地での営農再開を含め、福島県の水田農業を持続的に発展させるための手掛かりとなる情報が含まれています。

【受賞に寄せて荒井教授よりコメント】

「食農」の名がつく学会は、管見の限り日本では食農資源経済学会が唯一です。食農学類にもちなんだ学会から学術賞をいただけたのは喜びとするところです。

【食農資源経済学会とは】

食農資源経済学会は、約60年の歴史をもつ九州農業経済学会の伝統と組織を継承して拡充し2007年に創立された、食と農、地域資源をめぐる多様で幅広い分野を研究対象とする学会です。

【食農資源経済学会学術賞とは】

食農資源経済学会賞は、「学術賞」「奨励賞」「学会誌賞」の三種の賞を設けており、そのうち「学術賞」については、毎年1回、6名の委員により選考が行われ、特に顕著な研究業績を公表し、本学会の発展に寄与した会員に授与される賞となっております。

(お問い合わせ先)

農学系教育研究組織設置準備室 副室長

荒井 聡

電話：024-504-2844

メール：r822@ipc.fukushima-u.ac.jp

農学系教育研究組織設置準備事務室

電話：024-548-8212

メール：nogaku-j@adb.fukushima-u.ac.jp